



日本ライオンズ連絡事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-12-19 日章興産ビル 5階
Phone: (03)3547-7061 Fax: (03)3547-7076 E-mail: jlo@jade.plala.or.jp

(Eメール送信)

11-12 要録No.5
2011年12月27日

東日本大震災復興支援対策本部会議

副本部長 高田順一 様

監事 秦 従道 様

330 複合地区協議会議長 小峰理孝 様

331 複合地区協議会議長 井ノ浦義明 様

332 複合地区協議会議長 宮田 謙 様

333 複合地区協議会議長 萩原光義 様

334 複合地区協議会議長 岡本正治 様

335 複合地区協議会議長 新宅元之 様

336 複合地区協議会議長 迫越正彦 様

337 複合地区協議会議長 椿 幸雄 様

332-A 地区ガバナー 中居雅博 様

332-B 地区ガバナー 高橋晴彦 様

332-C 地区ガバナー 中嶋慶次 様

332-D 地区ガバナー 久保田善九郎 様

332-E 地区ガバナー 野川 亘 様

332-F 地区ガバナー 照井一美 様

相談役 不老安正 様

グローバル・アシストチーム 桜井孝一 様

監査役 吉田宗一郎 様

日本ライオンズ連絡事務所

件名： 第5回東日本大震災復興支援対策本部会議要録の送付

冠省 山浦晟暉本部長の指示により、12月15日に行われました第5回会議要録をお送りいたします。

草々

写： 各複合地区ガバナー協議会事務局

(2011-2012年度)

第5回東日本大震災復興支援対策本部会議要録

◎ 日時: 2011年12月15日(木) 13:30-16:00

◎ 会場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)

◎ 出席者:

本部長(国際理事)	山浦 晟暉	副本部長(国際理事)	高田 順一
監事(国際理事)	秦 従道		
330 複合地区協議会議長	小峰 理孝	331 複合地区協議会議長	井ノ浦 義明
332 複合地区協議会議長	宮田 謙	333 複合地区協議会議長	萩原 光義
334 複合地区協議会議長	岡本 正治	335 複合地区協議会議長	新宅 元之
336 複合地区協議会議長	迫越 正彦	337 複合地区協議会議長	椿 幸雄
332-A地区ガバナー	中居 雅博	332-B地区ガバナー	高橋 晴彦
332-C地区ガバナー	中嶋 慶次	332-D地区ガバナー	久保田善九郎
332-E地区ガバナー	野川 亘		
オブザーバー:			
グローバル・アシストチーム	桜井 孝一	監査役(公認会計士)	吉田宗一郎

山浦本部長により開会。332-F照井一美地区ガバナーは所要のため欠席された。2011年11月22日に行われた第4回会議要録を確認し、議事が進められた。

◎ 議 事:

1. LCIFカソンドラ課長から要請された案件(第4回会議から繰り越し分)

(1) 仙台高齢者施設に係る事業

332-C中嶋地区ガバナーより、アメリカのガラス・フォートワース日米協会から10万ドルがLCIFを通じて332-C地区に指定寄付されており、支援要請のある仙台市内の高齢者施設側と調整中との説明あり。

(2) フランスのライオンズ(MD103)からのドネーション

震災で親を失った子供たちのために使いたいとの要望があることを確認した。

(3) 奨学金プログラム

秦監事から午前中の議長会会議に再々提案された資料を基に説明あり。

カソンドラ課長とのやり取りやLCIF側の真意を確認し、同プログラムについては組織体としてMD332内で十分意思疎通を図ってから提案することにしてもらう。

2. MD332からの申請

(1) 12月1日付け審査結果リストが配られた。書類が整った案件はすでに振込が完了している。

(2) 今回の審査対象申請

①332-B地区、332-C地区、332-D地区から提出されている申請のリストおよび個別申請資料が配られた。

②申請資料提出に際しては次のとおり申し合わせる。

- ✓ 公的機関からの支援要請がある場合には、必ず公印の押された公文書を申請書に添付する。
- ✓ 自動車など高額なものを寄贈する場合には、受取の団体名および責任者や使用目的を明確にする。

3. 会計報告その他

(1) 会計報告

東日本大震災義捐金口座の2011年12月14日現在貸借対照表および収支計算書(3月11日からの累計・7月1日からの今期分)が配られた。義捐金口座から振り込まれた各支援の使途報告の際は、必ず領収証やレシートの原本を事業完了報告書と一緒に提出する。領収証が発行されない場合には、使途の明細をメモした一覧表を提出する。

(2) LCIF事務経費

3月11日以降、東日本大震災義捐金に係る事務は日本ライオンズ連絡事務所職員が担当してきたが、かなり負担が重いため通常業務に支障がある。そのため山浦本部長がLCIFに交渉した結果、今後LCIF事務経費を別途交付してもらう事に成り、連絡事務所使用賃料補助と事務機使用料として月額20万円又、事務処理の為にパート代及び現職員の残業他各種LCIFへの協力に対する人件費として毎月、固定額を設け、新たに設ける口座に3ヶ月ごとに一度支払われる事が報告された。尚、この口座は「東日本災害復興支援 代表 山浦晟暉」名義口座として新設され管理される事が了承された。

4. グローバル・アシストチーム(GAT)関係

(1) ボシュロム関係

ボシュロム・ジャパンおよびLCIF視力ファースト顧問の大野北大教授や日本眼科医会関係者と会合を開き、支援の方向性を検討しているとの報告あり。

(2) 東日本大震災支援報告書のとりまとめ結果

MD330が集計した各MDおよび各地区の支援報告一覧表が配られた。未提出の地区は早急にMD330事務局へ支援報告を出すよう議長から地区ガバナーに連絡する。

5. 次回会議

2011年1月31日(火)13:00-16:00、第6回震災支援会議を日本ライオンズ連絡事務所で開催。同日午前中は議長会会議が行われる。

※前日1月30日(月)14:00からはLCIF主催の「はしかイニシアチブ」セミナーがホテルニューオータニで開催される。同セミナーの交通費は各MDが議長・地区ガバナーの分をLCIFへ請求することになっている。

以上